

# WHO ファクトシート

## E 型肝炎

### Hepatitis E

2017年7月

#### 重要な事実

- ・E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(HEV)といわれるウイルスの感染によって引き起こされる肝臓疾患である。
- ・毎年、世界では推計2000万件のHEV感染が発生し、その結果推計330万件のE型肝炎の症状を示す症例が見られ(注1)、E型肝炎関連で56600人が死亡(注2)している。
- ・WHOは、2015年のE型肝炎による死亡は44000人(ウイルス性肝炎による死亡の3.3%にあたる)と推計している。
- ・このウイルスは、糞便—経口経路により、主として汚染された水を介して感染する。
- ・E型肝炎は世界中で見られるが、有病率は東及び南アジアで最も高い。
- ・E型肝炎感染を予防するワクチンは、中国では既に関済され認可されているが、他の国では未だ利用できない。

(1) [The Global Burden of Hepatitis E Virus Genotypes 1 and 2 in 2005.](#)

(2) [Global and regional mortality from 235 causes of death for 20 age groups in 1990 and 2010: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2010.](#) Lozano R, Naghavi M, Foreman K, Lim S, Shibuya K, Aboyans V, Abraham J, et al. Lancet 2012;380:2095-2128.

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Hepatitis E          ファクトシート原文は [こちら](#)